

保健福祉センター「いきいきプラザ都留」 完成予想図



2月中旬には、健康推進課や福祉事務所、社会福祉協議会が移転を済ませ、4月から実施される介護保険の対応などにあたります

医療の充実

市立病院では、現在、産婦人科および耳鼻咽喉科の増科とともに二十五床増床のための新病棟建設事業に着手し、平成十三年四月の開設を目指しております。

この事業の完成により、総合病院としての機能を果たす十二診療

科「ラザ都留」も、二月には開館の運びとなり、本市の保健・医療・福祉活動の中核施設として機能するものであります。高齢者や障害者だけでなく市民一人ひとりが健康で安心して暮らせるための日常生活の一部となるよう、快適な空間を創造しより良いサービスの提供を図って参ります。

児童館の設置

科、一四〇床体制となり、混雑する待合ホールも解消され、外来機能の充実が図られます。

児童施設につきましては、文化会館内に「児童館」を設置するため計画を進めております。高度情報ネットワーク時代を迎え、マルチメディアによる近未来体験型の施設とし、都留文科大学の学生や主婦など地域の人材を講師に迎えて、パソコン、自然、発明、料理、釣りなど「のびのびクラブ」を組織し、多彩な体験の機会を提供するとともに、幼児から高齢者まで多くの方に利用していただく、世代間交流の場として活用して参ります。

ミュージアム都留

昨年、四月の開館以来、市内・外から多くの方々に文化と芸術を堪能していただきました。

本年は、開館一周年記念特別展を計画しておりますが、春季特別展では、わが国を代表する染色家であり本館館長でもある、山辺知行氏所蔵コレクションより「日本の染織・山辺コレクション」展を開催するため準備を進めております。

また、本市は松尾芭蕉が約半年間谷村に滞在し、蕉風俳句への開眼を果たしたゆかりの地でもあることから、秋季特別展「芭蕉・旅・甲州展」を企画し、芭蕉の生涯を展望するとともに、谷村での生活が不惑の年を迎えた芭蕉に大きな心境の変化を与えたのかを知るとともに、秋の気配を感じていただく機会として開催を予定しております。

田原土地区画整理事業

この事業は、計画面積が五・八ヘクタールで、都留文科大学を中心とした田原地区周辺を快適で安全な市街地とするために計画され、富士急行線の駅設置や道路、公共施設の整備と合わせて進めることにより、宅地の利用増進が図れるものと期待しております。

市民と行政が手を携えた新たなまちづくりとして、田原土地区画整理組合の皆様とともに取り組んで参ります。

戸沢森林公園

昨年、小中学校や保育園に通う子どもを持つお母さん方と「語る会」を実施いたしましたところ、子育て問題とともに公園・緑地の整備に多くのご意見・ご要望をいただきました。

戸沢森林公園は市民の皆様への期待に応えるため、恵まれた自然環境に芝生広場、遊具広場を設置し、温泉を核として子どもからお年寄り、障害者までが憩い、心身の健康づくりを図る場として、本年夏には利用開始できる見通しとなりました。

都留文科大学

本学では、学部学科の上に大学院研究科があり、本年四月には、比較文化専攻が開設されます。

また、教育環境の整備として、新図書館の建て替え計画と高度情報化へ向けての情報センター機能の充実に向け、国際社会に対応できる人材養成のため国際交流の拡大を図って参ります。

また、大学が開かれた市民の学習の拠点として、市民と学生との触れ合いにより生涯学習にふさわしい教育環境づくりを目指すとともに、地域文化の発信地として大学のあるまちづくりに取り組んで参りたいと考えております。

着々と進む温泉施設の建設



中央道フルインター化

永年の懸案であります中央道都留インターチェンジのフルインター化につきましては、県を事業主体とする「地域活性化インターチェンジ」制度の導入を契機に、行政・企業・市民が一体となった運動を繰り広げております。今後とも国・県などに強力な働きかけを行い、一日も早い実現に向け努力して参ります。

このほか、商店街の活性化対策、総合運動公園の整備また、消防、防災対策あるいは生活に密着した社会基盤の整備に積極的に取り組むとともに、心豊かな明るく活力あるまちづくりに努力を重ねて参りますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。